

## □要請番号 (JL04825B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	C101 食用作物・稻作栽培		個別	新規	2年	・2026/1・2026/2・2026/3・2027/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

農業畜産省

## 2) 配属機関名 (日本語)

バジヨ農業研究開発センター

## 3) 任地 (ウォンディ・ボダン県バジヨ) JICA事務所の所在地 (ティンプー市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約3.0時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、農業振興調査研究組織として全国に4ヶ所設けられているセンターの一つで、1965年に農業試験場として設立された。ウォンディ・ボダン県を中心とする中西部地域5県を対象に技術支援を行っている。同センターには、畑作、園芸、エンジニアリング、技術支援サービスを担当する部署があり、年間予算は約1億円。これまでJICA技術協力プロジェクト「中西部地域園芸農業振興プロジェクト」(2016年~2021年)などを実施していた。過去にJICA海外協力隊(食用作物・稻作栽培、野菜栽培)の派遣実績がある。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

配属先では、国内の食糧安全保障の一環として、中西部地域で生産可能な米の品種改良研究を進めている。具体的には、各地域で採取した稻の育種・交配や栽培方法の改善を目指し、センター内にある圃場での実証実験を行っており、これまでに5つの品種改良に成功した。引き続き地域に適した品種の開発に注力したいものの、ベテラン技術者の退職により、専門知識を持つスタッフが不足しており、研究・実践が頓挫している状況にある。このような背景から、品種改良に向けた圃場での実証試験のサポートや同僚に対する技術指導に加え、周辺の稻作農家等への技術的な助言が求められており、今回の要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力しながら、以下の活動を行う

1. 稲作に関する各種試験を実施する。
2. 同僚と共にセンター内にある圃場で米の実証試験を実施する。
3. 研究を通じた米の品種改良に関する知識や技術を共有する。
4. 周辺の稻作農家等を対象とした研修を実施する。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

稻作の試験圃場、乾燥機、脱穀機、農機具一式、机、椅子、プリンター等

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

## 【配属先同僚】

センター長(50代、男性)※本邦研修経験者  
カウンターパート(40代、男性)※本邦研修経験者  
同僚スタッフ 2名(20,30代、男性)

【活動対象者】  
上記、同僚および地域農家約250世帯

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

## 【資格条件等】

[免許/資格等] : ( )

[学歴] : (大卒) 農学系 備考: 同僚の学歴水準に合わせるため

[性別] : ( ) 備考 :

[経験] : (実務経験) 5年以上 備考: 指導的な活動となるため

[参考情報] :

- ・米の品種改良に携わった経験(必須)

## 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候] : (温暖冬季少雨気候) 気温 : (10~30°C位) [電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可) 電話可 [水源] : (安定)

## 【特記事項】

- ・任地での生活使用言語は英語もしくはゾンカ語。ゾンカ語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。

## 【類似職種】